



季節感あふれる秀作が並ぶ、華道家元池坊岡山山橋支部による「いけばな池坊展」の会場

# 感性光る秀作ずらり

玉野で池坊岡山山橋支部展

## 華道ファンら魅了

華道家元池坊岡山山橋支部主催の「いけばな池坊展」(山陽新聞社など後援)が13日、玉野市宇野の玉野市立図書館・中央公民館ギャラリー

りーで始まった。季節感あふれる秀作の数々が、華道ファンらを魅了している。14日まで。テーマは「早春の風」。今こころ新たに」。坂井正行支部長(66)倉敷市児島下の町をはじめ岡山、倉敷、玉野、総社市の会員65人が、立花、生花、自由花の3様式で計67点を

真つすくに伸びた竹に紅梅、スイセン、ツバキをあしらった立花など、感性が光る作品が並んでいる。入り口近くではオンシジウム、オタフクナンテン、白いユリ、カニシダを

組み合わせさせた大作が訪れた人を迎える。岡山南高校(岡山市北区奥田)、玉野高校(玉野市築港)の生徒の力作も目を引く。来場者は、写真撮影をしながらじっくり鑑賞。パート川西真美さん(38)は「松が力強い作品が、玉野市前10時〜午後4時(岡本遥加)

香りが漂っていて、どの作品も趣がある」、長男の玉野市立田井小6年優輝君(12)、次男の同小3年和輝君(9)は「松が力強い作品が一番気に入った」と話していた。

入場無料。14日は午前10時〜午後4時。(岡本遥加)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。